

社会奉仕活動

ありがとうございました

道路の維持補修で快適に

葛巻町建設会（山口久雄会長、会員10社）は7月11日、町道などの維持補修の奉仕作業を行いました。今年は、本業を生かしたボランティア活動で町に貢献したいと10社から約25人が参加。町内4カ所で道路補修や落石撤去などが行われ、快適で安全な路線が確保されました。



林道案内沢線の路肩に落ちた岩石の撤去作業

遊具を塗装しピカピカに

岩手郡塗装業組合（岩崎清一組合長、組合員16人）は7月14日、葛巻小学校と江刈小学校のグラウンドに設置している遊具一式の塗装を行いました。同組合が年2回、社会奉仕活動の一環として行っているもので、お色直しを終えた遊具は見違えるようにきれいになりました。



てきぱきと作業する会員の皆さん（江刈小学校）



当選証書の付与式

農業委員が無投票で決まる

任期満了に伴う葛巻町農業委員会委員選挙は、七月十八日に告示され、当日午後五時で立候補の届け出が締め切られました。その結果、定数と同じ十人が立候補し、無投票となりました。二十四日に開かれた選挙会で当選人が決定され、新しい農業委員に選挙管理委員会の近藤好郎委員長から当選証書が付与されました。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	氏名	地区名	年齢
藤森雅美	鈴木雅	馬場正俊	馬淵修	天摩忠男	大蛇忠行	深澤進	下村作治郎	藤岡俊策	坂待純一			
浦子内	小屋瀬	星野	田野	山岸	四日市	野中	吉ヶ沢	田代	小田			
54	52	49	67	63	59	49	53	57	58			

届け出順、敬称略

任期は、平成18年8月20日から平成21年8月19日までの3年間です。議会や農業協同組合、農業共済組合の推薦による選任委員は、8月に決まります。委員全員の顔ぶれは9月号で紹介します。

全国大会の切符を手にし、さらなる挑戦が始まる第6分団



24年ぶりの快挙 1分団・6分団 アベック優勝

7月28日、第35回岩手県消防操法競技会（県消防協会主催）が矢巾町の県消防学校で開かれ、ポンプ車の部と小型ポンプの部に11地区の支部大会を勝ち抜いた34消防団（実質27消防団）が出場しました。

岩手地区支部の代表として、本町からはポンプ車の部に第1分団、小型ポンプの部に第6分団が出場し、磨き抜かれた操法技術を遺憾なく発揮しました。その結果、見事にそろって優勝を手にし、県内に葛巻町消防団の名をはせました。アベック優勝は、昭和57年の競技会で第15分団と第17分団が受賞して以来、24年ぶりの快挙となりました。

今回から個人表彰が設けられ、全出場選手の中から担当操作員ごとに優秀選手が選ばれました。ポンプ車の部「4番員」のナンバーワンには、第1分団の久多良直樹さん（30歳・茶屋場）が選ばれ、二重の喜びとなりました。

第6分団は、10月19日に兵庫県三木市で開かれる全国大会への出場が決定し、平成14年に続く2度目の全国への挑戦が始まります。



水しぶきを受けながら、一心に放水する6分団員



素早く確実な動作を行う1分団員

消防操法競技会の成績

●ポンプ車の部		●小型ポンプ車の部	
優勝	葛巻町消防団	優勝	葛巻町消防団
準優勝	洋野町種市消防団	準優勝	九戸村消防団
第3位	盛岡市消防団	第3位	洋野町種市消防団



県大会史上最高の190点で初優勝した第1分団

ひ 町長の とりごと



要望活動無用論もあるが、霞が関と岩手との距離は遠く、ましてや認識の程度は格段の差があり、今回の説明や提案、要望の効果も期待したいものである。

六月二十八日から三日間、財務省や総務省、国土交通省、農林水産省、緑資源機構、国会議員など、延べ五百五十人に要望活動を行った。二十八日は、岩手県町村会として「中山間地域の町村も存続発展していけるように」「中小規模農家も営農を継続できるように」「テレビのデジタル放送化への支援」「携帯電話不感地域解消」などを訴えた。二十九日は、久慈市長と共に「国道289号の改良、平庭トンネル早期着工」の必要性を説明。三十日は、一戸町長や二戸市長と共に「緑資源幹線林道葛巻田子線の早期完成」を強く要望した。

国政への要望活動